

<静岡市：静岡市バスレーン、パーク・アンド・ライド・バスライドシステム交通実証実験>

施策名	静岡市バスレーン、パーク・アンド・バスライドシステム交通実証実験
取り組みの背景 地域の交通環境問題 行政・市民ニーズ 交通基盤シズ など	背景 1：自動車交通の拡大により、朝のラッシュ時に発生する交通渋滞、交通事故、環境の汚染が発生している。 背景 2：このような課題に対し、オムニバスタウン計画を策定し、バスを利用することによって改善を図っている。 背景 3：今回バスレーン、パーク・アンド・バスライドシステムを実施する地区は、バス交通が集中する路線であり、市内のバス路線の根幹となっている。
目的・ねらい 目的・ねらい 対象交通 など	目的・ねらい：主たるねらいは、自動車利用からバス利用へ転換し、交通渋滞の解消、交通事故の減少、環境汚染の防止を図るものである。 自動車からバスへの転換を促進するため、パーク・アンド・バスライドシステムを設置する。 バス利用を促進するため、バスの走行性を確保するバスレーンを設置する。 対象交通：市中心部に向かう通勤自動車交通。
取り組みの経緯 経緯・熟度 など	平成 1 1 年度にオムニバスタウンの指定を受けた。 平成 1 2 年度にバスレーン、P & B R 等基礎調査を行い、データ収集と対象地区の検討を行った。 平成 1 3 年度に関係機関との協議を行い、交通実証実験検討部会を設置した。 平成 1 4 年度に行政、関係事業者となって交通実証実験を実施し、効果把握と課題の検証を行った。
主体・広報・費用 実施主体 検討組織 広報スケジュール 費用負担 など	実施主体：静岡市オムニバスタウン計画推進協議会 検討組織：静岡市交通実証実験検討部会 （国土交通省、静岡県、静岡市、しずてつジャストライン、静岡県警察） 広報：平成 1 4 年 5 月から市広報により広報を開始。その後、新聞、テレビ、ラジオ等により、広報を行い、関係町内会などに実施の説明を行った。 費用負担：事業主体は市であるが、運輸局の補助を受けた。

実施概要	対象地域：バスレーン（静岡駅前～籠上交差点）
対象地域 実施日時 施策内容 など	<p>パークアンドライド駐車場（西ヶ谷総合運動場臨時駐車場（約100台） （下・門屋地区臨時駐車場（約100台））</p> <p>実施日時：平成14年11月18日（月）～22日（金）</p> <p>施策内容：・バス路線が集中する路線にバスレーンを設置 ・市郊外部にP&B Rを設置</p>
効果測定内容	効果測定内容：・周辺道路の交通量調査、渋滞長調査
測定内容 効果把握 など	<p>・バス利用状況調査</p> <p>・意識調査</p> <p>効果把握結果：・P&B R利用者は10日間で約650人いた。</p> <p>・アンケートでは、約7割の人が実験を実施して「良かった」と回答している。</p> <p>・バスレーンでは、バスの走行性が向上し、定時性が確保された。</p> <p>・アンケートの回答された方の約6割が導入に前向きであった。</p>
取組上の課題	課題1：P&B Rについては自動車より時間がかかること、料金に対することについての意見が多く寄せられた。
合意形成 費用負担 など	<p>課題2：バスレーンについては、比較的円滑に実施することができたが、本格導入に向けて、再度関係機関や市民と合意形成を図っていく必要がある。</p> <p>課題3：約6割の人が前向きな回答であったが、条件付きで賛成という人が比較的多く見られたことから、十分な実験結果の検討、調整が必要である。</p>
その他特記事項	実験結果を踏まえ、関係機関等と協議、調整を行い、市民に理解と協力を求めながら、平成16年度にバスレーン導入を目指していく。
今後の方向性 地域指定 等	

以上

都道府県市名 : 静岡県静岡市
 担当部局名 : 都市整備部 交通政策課